

著名工事 視察の手引

道路著名工事

- ①東京府放射線及び環状道路新設工事 ②延長15里幅12間の舗装道路を新設するものにしてコンクリート、アスファルト等の工事 ③アスファルトプラント、アスファルト撒布機等使用 ④環状線7.5里の内3.75里竣工(四月末)、放射線7.5里の内2.1里竣工(四月末)
- ⑤東京府土木部都市計畫課第一道路改修事務所長(澁谷)鈴木善之助氏、第二出張所長(巢鴨)上村爲人氏 ⑥直營及び請負 ⑦昭和5年 ⑧第一事務所は省線エビス驛下車目黒役場へ向つて3丁右手(澁谷町下通り)、第二事務所は省線板橋驛下車大正大學前(西スガモ町スガモ)
- ①芝區札の辻電車通りより芝浦に至る 都市計畫事業街路一等大路第三類第二號路線築造工事 ②③④鐵道東海道線を架道橋により横斷し復興計畫幹線第一號路線に接續する等關係重大擁壁工(鐵筋コンクリート高30尺)を主とす、目下擁壁基礎工事の一部 ④ベテスタルパイル施行中、次いでコンクリート擁壁工に着手 ⑤東京市土木局道路課技手小山斐夫氏 ⑥基礎工事請負者は東洋コンプレツソル會社、他は直營 ⑦一部は本年度施行、完成期は昭和五年度の豫定。
- ①四谷區大木戸電車通りより千駄ヶ谷觀音町橋通りに至る 都市計畫事業街路一等大路第三類第三號路線築造工事 ②地勢比較的複雑にして鐵道線路、明治神宮裏參道等を横斷する爲工作物の種類多し、路面はアスファルト舗装將來軌道豫定のケ所は簡易舗装工施工 ④家屋移轉終了部分に對し施工中 ⑤東京市土木局道路課 ⑥直營東京市土木局道路課立川技師 ⑦昭和五年三月三十一日 ⑧市電四谷大木戸下車 ⑨明治神宮外苑、新宿御苑。
- ①四谷區新宿旭町地内道路工事 ②12間幅道路の中央に簡易舗装を施工し、車道交通頻繁のケ所はアスファルト舗装延長約200間 ③西新井の東京市アスファルトプラントに於て配合して運ぶ ④擴張部分家屋移轉未了の爲一時中止中の處一部移轉せるに依り去8月1日より施工中一部竣工 ⑤東京市土木局道路課技師立川大市氏 ⑥直營工事、道路課技師大井川三平氏 ⑦昭和四年度 ⑧新宿ホテル屋前、市電道分下車。

東京附近橋梁著名工事

- ①萬世橋架設工事 (東京市神田區) ②假締切代用としてトラフを架設し地下鐵道を同時に施工す ③河底を横斷する地下鐵工事を先にする爲め鋼鐵製溝形を以て河流を通し舟行に支障なからしめ次に下部の工事に着手する、總てスチールシートパイルにて締切を施し地下鐵工事もオープンカットにて施工す

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ケ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
④工事現狀 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

る諸種の設備あり ④洞渠工事は一部防水工事を殘し略完成、現在は橋臺工事を進めつゝあり、懸念されたるトラフ下掘鑿も異狀なし ⑤東京市役所土木局橋梁課技手反町甚三郎氏 ⑥大林組 ⑦昭和5年1月豫定 ⑧省電萬世橋驛又は須田町 ⑨聖橋、お茶水橋、ニコライ堂。

- ①戸田橋架換工事 (東京府北豐島郡志村、埼玉縣北足立郡戸田村立會、國道九號線荒川筋) ②橋臺間距離539米59、橋梁上部構造東京府寄洪水數部長21米上路式鋼版桁橋17連、埼玉縣寄低水數部下路式木型構橋一連徑間157米5中央徑間87米5側徑間米35中央部ワーレン式構橋43米75) 橋床鐵筋コンクリート床版にアスファルトブロック舗装、基礎工事は木型構橋主要橋脚鐵筋混凝土造り二基、基礎井筒深41米及37米5、鋼版桁橋脚橋臺及び構橋鐵筋用橋脚橋臺19基は末口10吋長55呎、60呎、70呎の米松杭を基礎とし其上に鐵筋コンクリートを以て築造す、總工費金126萬9400圓 ③昭和4年5月22日起工式舉行 ④埼玉縣土木課施工監督 ⑤基礎工事間組請負 ⑦昭和6年3月。

東京市下水道工事

- ①芝區田町地内 自札ノ辻至鐵道線路、下水道幹線工事 ②二系統の下水道管渠を一個の鐵筋コンクリート構造物となせしを特徴とす即自然流下により品海に下水を放流せしめ得べき芝、麻布、赤坂、四谷、麴町區方面の高臺用として幅8.0/高8.0の矩形渠を上段に然らざる區域即別途施設の芝浦唧筒場に於て吸揚の上排除すべき麴町、神田、日本橋、京橋、芝四谷、牛込、小石川、本郷、下谷區方面用として幅11.0/高9.0の矩形渠を下段に築造するの計畫なり ③二段管渠 延長410.4 一段管渠(斷面内徑2.0圓形より幅11.0/高8.0の矩形渠に至る)371.0人孔4個所 分水装置1ヶ所 ④市電軌條のみを殘し他は完了 ⑤設計者東京市役所土木局下水課技師山田武治氏、監督主任神田區主任技師吉田茂壯氏、⑥技手稻生達一氏、請負者飛鳥組 ⑦昭和4年5月末。
- ①深川區豊住町地内 木場唧筒場雨水唧筒工事 ②本工事に於て施設する唧筒は軸流型唧筒にして低揚程大揚水量の揚水に當り在來の離心型唧筒に比し其の設計、製作、操作及設備費の點に於て容易低廉なるは勿論總能率に於ても優るとも劣らざるものにしてかゝる状態に於ける水の吸揚に最も適する唧筒なり、歐米には其の例を見るも現在本邦に於て製作設置するものの最大なるものなり ③口径45吋(排水能力一臺100立方尺/秒)4臺(附屬品共) ④ポンプは現場へ持ち込みたるも目下工事中の上屋工事完了

著名工事 視察の手引

に近くを待つて据付の豫定 ⑤設計者技師根本子之助氏、技師兒玉琢夫氏、監督主任者技師加納豊彦氏、技師益本芳五郎氏 ⑥請負者荏原製作所 ⑦市電洲崎停留場下車、約九町。

①深川區豊住町地内 自木場唧筒場至横十間川下水道幹線工事 ②現場附近は河川及木堀多数のため僅に1,522.4の區間に四ヶ所の伏越部を有するを特徴とす ③普通部管渠延長(斷面幅 8.4)高 7.2馬蹄形渠) 1,115.41 伏越部管渠延長(斷面内徑 6.40圓形 406.4 (四ヶ所合計)人孔及灯孔12箇所 ④昭和貳年拾壹月拾日着手 ⑤設計者東京市土木局下水課技師山田武治氏、技師上田收司氏、監督主任者技師仲山金治氏技師關口隆長氏 ⑥直營施工 ⑦昭和四年 ⑧市電洲崎停留場下車、約十町、城東電車、豊手橋停留場下車、約五町 ⑨仙氣稻荷、約八町、東京木場唧筒場(下水道)本工事起點附近。

東京市内建築著名工事

①麹町區永田町新議院 ②日本の代表の大建築(工事畫報大正15年1月號参照) ③鐵骨工事、コンクリート工事、石材工事等に機械の大設備在り ④鐵骨工事を終り混凝土及び石積工事中、全體の約5割竣功 ⑤大藏省營繕管財局にて懸賞設計募集により案を執り同局工務部にて設計及監督、工事場主任技師小島榮吉氏、現場分擔主任技師栗原忠一氏、技師肥塚照次氏、工學士中榮一徹氏 ⑥コンクリート工事全部直轄、他は部分的請負 ⑦昭和6年 ⑧東京驛より自働車往復20分 ⑨首相官邸、藏相官邸、文相官邸、參謀本部等在り。

地下鐵道工事

①東京地下鐵道工事(上野萬世橋間) ②路下式開鑿の地下鐵道として我國最初の工事で第一期線上野淺草間施工の經驗により本區間の設計施工は大に經濟的となりたる事 ③杭打機、掘鑿機 土砂搬出機其他コンクリート施工設備等完備せり ④昭和二年七月鐵杭打込に着手 ⑤東京地下鐵道株式會社建設部技師長遠武勇熊氏、現場主任平田技師 ⑥大林組請負 ⑦四年末 ⑧省線御徒町驛下車又は萬世橋驛下車。

東京附近鐵道工事

①秋葉原貨物驛改良工事(東京市内上野神田間) ②二層式设计にして貨物の昇降は専ら「エレベーター」及「シュート」を使用し長尺もの及重量品の昇降には「テレフアー」を使用す ③「スチームパイルドライバー」、「ロコモチープクレーン」電氣「コンクリートミキサー」、「コンクリートシュート」等を使用せり ④全工事の過半部を竣功し昭和三年四月一日よ

本欄は次の順序に配列記載します

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

り使用を開始し殘部工事中 ⑤監督主任者(土木、建築)第一改良事務所設計掛(機械)工作局、現場監督主任伊本技師 ⑥(土木建築)錢高組、(シュート)東京石川島造船所(エレベーター)日本エレベーター製造會社 ⑦昭和五年度末 ⑧省線秋葉原驛下車 ⑨東京市神田市場工事、地下鐵道工事、上野公園。
①下河原砂利採收場(中央線國分寺支線玉川附近)
②「ドラッグラインエキスカベーター」若くは「スチームショベル」にて採掘したるものを構内に運搬し第一節にて大玉石を抜き之を第二、第三の節を通すと同時に水洗をなし普通コンクリート砂利、鐵筋コンクリート砂利、の三種に區分する装置とし大玉石は碎機にて破碎したる後第二、第三節を通すものとす(設計能力一時間五立坪) ③設備東洋第一と稱せらる、尙ほ上記節分洗滌所の外五十馬力「モーター」により運轉する能力一時間約三立坪の採集船を有し尙「スチームショベル」、「ドラッグラインエキスカベーター」等を使用す ④以上諸機械を運轉する外に人力採掘を合せ年額四万立坪内外を採集す ⑤鐵道省第一改良事務所設計掛(及工作局)、採集現場監督、田尻技師 ⑥(節分所)錢高組、宮地榮治郎氏、高田商會、荒川製作所、採集船、明石組 ⑦中央線國分寺驛下車貨物列車便乘 ⑧向ヶ丘遊園地、分梅河原古戰場、百草園、大國魂神社。

河川著名工事

①目黒川改修工事 ②都市内に於ける河川工事として幅14間延長4081間、運河として内364間を設備す、コンクリート間知ブロックを護岸に使用す。
③スチームショベル、ドラッグラインエキスカベーター電氣機關車(土運搬用)等使用 ④全體の約30%竣工、品川町品川橋下より森永橋間を掘鑿及護岸工事中、新國道と舊國道間は竣工 ⑤東京府土木部都市計畫課、目黒川改修事務所長平井技師 ③直轄工事 ⑦昭和五年度 ⑧市電北品川終點下車約6丁利田新地。
①信濃川補修工事(新潟縣三島郡大河津村附近)
②東洋第一を誇りたる大河津分水自在堰が昭和二年六月陥没せる爲め之が復舊を目的とし同時に下流寺泊に至る分水路の補修工事をなすもの工費446萬圓 ③締切工事にシートパイルを極度に利用し、サクシヨンドレッヂャー、索道、スチームショベル、採石設備其他土工用の大機械類を使用せり ④昭和二年十二月起工、目下は可動堰工事基礎杭及び固定堰工事鋼矢板打込中にして、第一床固工事は略竣功し第二床固工事施工中なり。五千石及石港兩床留工事は竣功、附帶低水工事40%弱竣功せり ⑤内務省新潟土木出張所長青山士氏、信濃川補修事務所(大河津所在)主任工學博士宮本武之輔氏 ⑥直營工事 ⑦

著名工事 視察の手引

昭和五年度 ③舊越後鐵道線大河津驛下車 ④彌彦神社。

鐵道トンネル著名工事

①丹那トンネル工事（熱海建設事務所）②延長25,614呎、形狀、復線圓弧形高さ22呎6吋、幅25呎（勾配）兩抗門より四百四十分の一上り勾配西抗門起點5,822呎より11,451呎間三百分の一、（覆工）側壁は場所詰凝凝土、穹拱は混凝土塊積（一部分煉瓦石を使用せしもあり）厚さは2呎1吋乃至4呎5吋半（掘鑿方式）主として塊太利式に依る（排水隧道）内法り高さ幅共に6呎排水能力一秒時間約150立方呎の排水専用隧道を主體隧道の左側に50呎以上を隔て全長に亘り築造す排水隧道の底面は主體隧道施工基面以下5呎2吋とす ③隧道掘鑿其他工用原動力とし總て電力を使用せり而して本隧道兩口諸設備は東口（熱海）主要遞降變壓機3個、高壓空氣壓搾機3臺、回轉變流機2臺、電氣機關車5臺、「ターボ」送風機2臺、バツチャープラントー組。西口（大竹）大竹火力發電所一ヶ所、主要遞降變壓機3臺、高壓空氣壓搾機3臺、底壓空氣壓搾機4臺、廻轉變流機2臺、電氣機關車6臺、換氣機2臺、材料運搬用蒸氣鐵道延長約2哩、尙附帶設備として救護所を設置し醫員を專屬せしむ ④工事現狀昭和4年6月末日。

底設導抗	東口	10,000呎	西口	項設	9,230呎
覆工	〃	9,094呎	〃	〃	7,788呎
水抜抗	〃	9,313呎	〃	〃	8,481呎

⑤鐵道省建設局、監督主任者、熱海線建設事務所長鐵道技師 川口愛太郎氏、現場監督者（熱海）派出所主任鐵道技師 岡野精之助氏、詰所主任 技手 福島龍八氏（大竹）派出所主任 鐵道技師 橋本哲三郎氏 詰所主任 市川技手 發電所主任 鐵道技手 湊銀次郎氏 ⑥東口は鐵道工業株式合資會社主任田中仙太郎氏、西口は鹿島組主任 櫻井金作氏。

①清水トンネル工事（上越南線及北線を連絡する清水峠の下を貫く東洋第一の長大隧道延長實に31,331.8呎）②掘鑿方式は新奧國式及上部開鑿式、隧道形狀は乙型及乙型變型即乙型のスプリング以下側壁を直にしたもの ③材料運搬用鐵道設備（電車蒸氣蓄電車ガッリン車）變電所壓搾空氣設備、換氣機設備諸機械（鑿岩機其他）修繕工場設備、碎石、碎砂、木工場設備 ④南線土合口昭和4年6月末日導坑14,940呎、疊築6,230呎出來、北線土樽口昭和4年6月末日現在底設導坑14,030呎出來、疊築拱8,145呎出來 ⑤鐵道省建設局 監督主任技師 土合口は東京建設事務所佐藤周一郎氏、土樽口は長岡建設事務所善如寺秀太郎氏 ⑥鐵道省直轄 土合口東京建設事務所技手關野廣造氏、土樽口長岡建設事務所 技手

本欄は次の順序に配列記載します

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
④工事現狀 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

沼崎寧氏 ③昭和5年3月 ④土合口は上越南線水上驛下車、土樽口は上越北線越後湯澤驛下車輕便にて土樽詰所に至る詰所より約一丁にして抗口 ⑤土合口に近く湯檜曾溫泉、ループトンネル工事、土樽口に近くスキー場（隧道附近一帶）湯澤溫泉、ループトンネル工事。

①上越北線第二松川隧道工事（位置上越南線澁川起點38m00c351延長5,388呎9）②環狀形線路中設けられたる隧道 ③動力所、修繕工場、鑿燒工場、木工場、治療所、其他假車庫假官舎等約五十棟 ④掘鑿方法鑿岩機使用、岩質硬砂岩湧水少量にして掘鑿簡易なり、三年十月末日導坑4,880呎出來、疊築2,881呎出來 ⑤鐵道省長岡建設事務所直轄工事現場主任 技手 馬場忍氏、同上 黒川正輔氏 ⑥昭和4四年9月30日 ⑦上越線越後湯澤驛に下車し工用輕鐵に乗り鐵道省松川詰所に至りこれより徒歩 ⑧湯澤溫泉、東電湯澤發電所。

①上越北線松川第一隧道工事（上越南線澁川起點36m53c501延長5,286.6呎）②積雪を考慮し山腹に設けたるものなり ③松川第二隧道と同一なり ④掘鑿方法手掘、土質軟きため掘鑿に困難なり導坑進行3年10月末日2,722呎、捲立1,436呎出來 ⑤鐵道省長岡建設事務所直轄工事主任 技手馬場忍氏、同上 林野準之助氏 ⑥昭和4年9月 ⑦上越線越後湯澤驛に下車工用輕鐵に依り鐵道省松川詰所に至りこれより徒歩 ⑧湯澤溫泉、東電湯澤發電所。

①木次線下久野隧道工事（米子建設事務所）②延長1.5哩單線片勾配主として掘鑿は機械掘 ③空氣壓搾機其他諸設備は下久野側のみを設置す而して以上に要する動力及電燈用電力は水力電氣會社より購入す ④昭和2年12月25日着手4年2月20日現在底設道坑進行679m 疊築拱70m ⑤鐵道省米子建設事務所 鐵道技師 南信一氏 ⑥鐵道省直轄現場施工主任者 鐵道技手 石田啓次郎氏 ⑦昭和6年3月 ⑧山陰本線穴道驛一私設築上鐵道大東驛（8m6大東下久野、乗合自動車約2里）⑨穴道驛前面に穴道の湖水あり。

①因美線物見隧道（鐵道省岡山建設事務所）②延長3km74m76、其内智頭口（チヅ）と稱する鳥取方の延長1km846m49にして勾配20/1000、津山口は勾配3/1000岩質は花崗岩 ③チヅ口は二交代作業にて鑿岩機ライナー26番を使用し其他機械設備を有す、津山口は手掘進行中にて機械設備準備中である ④坑口昭和4年1月11日着手目下チヅ口は導坑進行135m（3月31日現在）一日平均3m内外 ⑤岡山建設事務所、チヅ口現場主任森技手、津山口主任吉原技師 ⑥チヅ口は鐵道工業會社請負、津山口は橋本店請負 ⑦昭和6年9月 ⑧鳥取より因美北線智頭驛下車、

著名工事 視察の手引

自動車にて那岐まで30分間を要す。津山口は津山驛より自動車1.5時間。

①萩線大刈隧道工事 ②延長2,217m、單線新中間型勾配京郡方1.8‰萩方1.8‰、③掘鑿は機械、手掘併用エアコンプレッサー鑿岩機其他工場設備 ④昭和3年1月掘鑿着手、4年3月までの進行東口(京郡方)1220m、西口(萩方掘)400m、⑤鐵道省山口建設事務所、技師岩崎憲吾氏、技手柴田一雄氏、内田恵助氏、畑山正平氏 ⑥西本健次郎氏 ⑦昭和5年12月20日 ⑧山陰本線須佐驛下車隧道口迄徒歩30分 ⑨名勝天然記念物須佐灣あり。

海底隧道

①關門海底隧道調査 ②隧道豫定地の地質調査、三角測量並に大瀬戸海峡に於ける潮流調査、通過船舶數量調査、風速、風信、潮位觀測、漂砂に關する調査、海中混凝土に關する實驗、隧道施工法の比較研究等。③地質調査に使用中の試錐機は「ガデリウス」會社製手送式「サリバン」會社製水壓式及「キーストン」會社製衝撃式にして海中試錐機臺として鐵製浮足場を使用す、三角測量は最も精確を要するものにして測角に獨逸製「カールンベルヒ」の「トランシット」及「レベル」基線測量に「インバースチールテープ」を用ゆ、潮流調査に獨逸製「マックスマルクス」流速計和製「プライス」型電音流速計を用ゆ ④大部分は終了、殘餘の調査も本年度中に終る豫定本工事着手は未定なるも着手後竣功まで約5年半を要する見込。⑤鐵道省工務局關門派出所所長、技師大井上前雄氏 設計者 技師 鴨下武氏、監督技師 佐伯謙吉氏 ⑥鐵道省直營 現場施工主任 技手 光成毅平氏 ⑦昭和4年7月 ⑧下關驛下車、關門派出所に案内を乞ふ事 ⑨安徳天皇の御陵(赤間宮)壇ノ浦古戰場、春帆樓。

關西地方の鐵道著名工事

○阪和電鐵 (大阪市天王寺區上本町5ノ4)省線天王寺驛から東和歌山驛間38哩5分と濱寺支線1哩餘資本金2千萬圓、工事は2期11工區に分ち目下進行中、大阪市内1哩7分の高架線、大和川鐵橋工事等の第一期線は高架道其他殆んど完成を見百封度軌條引延し中、第二期線の紀の川鐵橋延長1,580呎橋脚工事完成し鐵桁架設中。紀泉國境の隧道、橋梁等着々進捗し近く完成するを以て目下軌條引延し準備中。第一期線6月、第二期線10月竣工の豫定、工事監督主任箕浦戒二氏、山口申七氏、望月三好氏。請負は鹿島組、原正組。

○參宮急行電氣鐵道 (大阪市天王寺區上本町大軌社内)大阪より宇治山田間83哩を二時間で連絡せんとする廣軌電氣鐵道の建設、工事費3千3百萬圓、

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

昭和2年9月起工、4年秋には一部開通豫定。全線中の難工事と見らるゝ青山トンネルは昭和3年3月起工延長2哩10鎖兩勾配の單線型、掘鑿の諸機械設備も完全して2ヶ年半で完成の豫定。技師長は石川鼎氏、東口1哩20鎖(三重縣一志郡倭村)の主任技師は山口義夫氏、西口70鎖(同縣名賀郡上津村)の主任は技師西畑常氏、請負は大林組である。

○名古屋貨物驛新設工事 (名古屋鐵道局改良課施工)名古屋驛附近の現在線路を高架線とする準備としての大工事、貨物驛第一期工事完了5月1日より開業。土取場設備、客車操車場工事着手準備中。工事主任名古屋鐵道局改良課技師伊藤政恵氏、請負飛鳥組、昭和10年度竣工豫定。

○大阪市内高架線工事 (鐵道省大阪改良事務所施工)大阪驛の前後約2哩間を高架線とする工事、大部分はコンクリートスラブ式、一部擁壁式、工事中

○神戸市内高架線工事(工事畫報3年10月號參照)

○大阪驛新築工事 (大阪鐵道局改良課施工)建物としては東京驛より小なるも高架線の下を全部使用して驛設備としては最新の設計になり多くの特長を有す、近く起工の豫定。

ニユマチツクケーソン工事

①鐵道省關西線揖斐川橋梁改築工事 ②昨年10月木曾川及揖斐川橋梁一線竣功開通したるが、本年1月より揖斐川第二線に對するケーソンの Air on をなし、6月までにニユマチツクケーソン16ヶ、オープンケーソン1ヶ沈下の豫定 ③ケーソン用壓搾空氣設備、コンクリート施工設備(インテーター使用)假棧橋上可動機臺及びポンツーン上のデリック等、諸設備に相當の改良を施せり、深水部ケーソンに對しては全く進水式を用ひずスチールシートパイル締切法を採用す ④準備工事着手昭和3年10月 Air on 4年1月28日 ⑤設計鐵道省工務局、施工名古屋鐵道局改良課、工事掛主任釘宮盤氏 ⑥名古屋鐵道局直營 ⑦昭和4年7月 ⑧名古屋驛から、關西線に乗換へ長島驛に下車、現場まで徒歩10分、名古屋から視察往復半日にて足り、旅費1圓以下 ⑨木曾、長良、揖斐三川の伊勢灣に朝する所附近水郷の興趣愛すべく、桑名、養老等亦遠からず伊勢神宮又は奈良への途中下車に適す。

港灣著名工事

①東京市隅田川口改良工事 ②埋立及び浚渫工事埋立面積106萬坪、防波堤1,440間、繫船岸壁500間の築造工事、繫船壁の工事特長は高さ31呎幅26呎長60呎の鐵筋混凝土造の潜函を使用(三年六月號等參照)防波堤は輕易なる假防波堤の構造で幅甚だ大

著名工事 視察の手引

にして20間なる事等 ③鋤鏈式の浚渫船一日の能力700立坪一隻、250立坪一隻、200立坪一隻、掘揚式300立坪一隻、掘揚式50立坪3隻、ポンプ式浚渫船一日能力500立坪一隻、350立坪一隻、300立坪一隻、④浚渫埋立、防波堤、岸壁等工事中 ⑤東京市役所河港課長技師永井松次郎氏掛長技師田村與吉氏河港課芝浦出張所長技師武藤信雄氏同所技師上野長三郎氏⑥全部直營 ⑦昭和6年 ⑧省線田町又は市電本芝一丁目下車海岸の方へ出る ⑨泉岳寺、芝浦海岸一帯等。

①東京灣埋立會社の鶴見埋立工事 ②埋立面積150萬坪、防波堤、繋船岸壁、運河工事等 ③1千馬力のポンプ式浚渫船を初め大小數種使用、コンクリート函用製造用ドック、コンクリート矢板等使用 ⑦埋立完了、浚渫及び横濱寄防波堤工事中 ⑧東京灣埋立會社取締役工學士關毅 ⑨直營工事 ⑩省線鶴見驛下車、海岸電車及び自働車あり ⑩淺野造船所ヒュームコンクリート管會社等あり。

①横濱港改修工事、岸壁工事、埋立工事、浚渫工事 ②護岸のアーチ型扶壁體と岸壁に使用のケーソンは岡部博士の耐震設計 ③ケーソン製造用の經濟ドック在り、アーチ型特種コンクリート擁壁製作諸設備土丹盤浚渫にデツバードレッツチャー使用 ④外國貿易用10米岸壁及其背面の埋立、内國貿易設備地山ノ内町地先横棧橋(水深8米)及高島町地先第一、二號棧橋、其他浚渫及外防波堤基礎土丹捻込中、全體の39.4%進捗、(4年3月末) ⑤横濱出張所長、浚渫埋立工事主任樗木技師、岸壁ケーソン工事主任鮫島技師、機械主任宮武技師 ⑥内務省横濱土木出張所直營 ⑦昭和9年3月末 ⑧横濱驛下車、内務省土木出張所迄徒歩5分 ⑨横濱市内に復興工事として視るべき道路、橋梁、河川、區劃整理、建築多數あり。

①清水港修築工事(静岡縣所在) ②工費665萬9千餘圓にし大正十年より起工、浚渫埋立岸壁等の諸工事及び鐵道省引込線の委託工事中在り ③鐵筋混凝土ケーソン工事設備に特種のデールツク、クレン使用其他浚渫埋立工事に諸機械設備あり ④盛んに工事中(工事書報昭和2年11月號參照) ⑤内務省横濱土木出張所、清水港修築工事々務所長須山英次郎 ⑥直營工事 ⑦昭和3年度 ⑧東海道江尻驛下車 ⑨駿河灣に臨む三保の松原一帯。

①神戸港改修工事、岸壁工事、埋立工事、浚渫工事 ②高西博士の特種ケーソンを岸壁に使用す、防波堤は基礎を深へて捨石するの特種工法 ③コンクリートケーソンの進水に浮ドックを使用セリ ④國內貿易設備工事、外國貿易設備工事、防波堤等工事中 ⑤内務省神戸土木出張所長高西敬義、ケーソン岸壁、埋立、浚渫、防波堤工事主任は荒木博士 ⑥内

本欄は次の順序に配列記載します

- ①工事ケ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

務省神戸土木出張所直營、割石も直營採取 ⑦昭和8年 ⑧三宮驛下車内務省土木出張所迄徒歩10分 ⑨三菱及び川崎造船所、六甲山阪神國道、布引等、高架線鐵道改良工事。

①門司港修築工事(岸壁、防波堤、浚渫埋立工事) ②特種ケーソン及びL形ブロック使用 ③ケーソン及びL形ブロック製作設備、進水臺、浚渫船等 ④約8割竣功 ⑤内務省下關土木出張所所長、片山貞松、工事主任木津正治氏、機械主任小松郁次郎 ⑥内務省下關土木出張所直營 ⑦昭和4年度(起工大正8年) ⑧下關驛下車内務省土木出張所へ約半里同所にて案内を乞はれ度し ⑨附近に下關港修築工事中在り。

①小松島修築工事 防波堤工事、岸壁工事、護岸工事、埋立工事、浚渫工事 ②防波堤工事は基礎捨石上に角形ケーソンを据付け混凝土方塊を以て根固めを行ふ ③方塊製作設備、石材採集運搬設備及び浮函製作進水設備サンドポンプ埋立設備 ④工事中 ⑤内務技師川上留吉氏 ⑥内務省神戸土木出張所直營 ⑦昭和7年度 ⑧汽車小松島驛下車、大阪、神戸方面より大阪商船若は阿波共同汽船會社經營阿攝航路便にて小松島下船を便とす ⑨鳴門、横須松原、恩山寺。

①今治港修築工事 埋立工事、浚渫工事、浮棧橋築造工事、荷揚場築造工事、護岸工事、岸壁工事 ②なし ③石材採集運搬設備、方塊製作及運搬設備等 ④工事中 ⑤内務技師山東功氏 ⑥内務省神戸土木出張所直營 ⑦昭和6年度 ⑧今治驛下車廣小路を東方へ約13丁 ⑨今治舊城跡、國分寺、道後温泉、大三島神社。

①敦賀港修築工事(岸壁、防波堤、浚渫、埋立工事) ②深海に於ける防波堤工事 ③ケーソン及び方塊製作、進水設備、石材採取及び運搬設備、諸機械電動設備、浚渫船等 ④約4割竣功 ⑤内務省名古屋土木出張所長辰馬鎌藏氏、工事主任千田正重氏 ⑥内正十務省名古屋土木出張所直營 ⑦昭和5年度(起工大正11年度) ⑧敦賀驛下車 ⑨金崎城址、氣比神宮(官幣大社)。

①鹿兒島港修築工事 防波堤工事、浚渫工事、舊臺場除却工事 ②防波堤はケーソンを使用す、舊臺場除却及浚渫工事にデツバー式浚渫船を使用し非常なる好成绩を挙げ岩石掘鑿工費低減のレコードを造りつゝあり ③ケーソン製作、進水設備 ④大正15年9月より事業開始 ⑤内務技師三好貞七氏 ⑥内務省下關土木出張所直營 ⑦昭和4年度 ⑧鹿兒島驛下車 ⑨櫻島、城山、磯邸、西南戰爭遺跡。

①境港修築工事 防波堤工事、岩壁工事埋立工事、浚渫工事 ②混凝土方塊、L型ブロック使用 ③方

著名工事 視察の手引

塊及L型ブロック製作設備、淡漕船、起重機船、石材採集設備等 ④約5割竣功 ⑤内務技師太田壽氏 ⑥内務省大阪土木出張所直營 ⑦昭和4年度 ⑧境港驛下車境港修築事務所迄約18丁 ⑨弓ヶ濱、美保神社(國幣中社)五本松公園。

水力発電所工事

①廣島電氣瀧山川発電所工事 (廣島縣山縣郡加計町) ②水路延長3,652間内3,272間は隧道にして内徑9.6尺の馬蹄形。勾配 $\frac{1}{1000}$ 、水深6.6尺。水面上3尺の空間を作り木材等を流下す。落差718尺、水壓管長1,178尺、内徑上部6尺、下部4.5尺、1萬馬力水車2臺据付。最大出力15,000K.W. ③50馬力乃至150馬力コンプレッサー-總計14臺、鑿岩機50臺、シャープナー7臺、其他 ④目下工事中 ⑤廣島電氣株式會社建設部長赤松三郎氏 ⑥⑦⑧廣島市より瀧山川に浴ふて上ること14里。加計町に達す。途中可部まで輕便軌道あり。

⑨東信電氣阿賀野川第二発電所工事 (新潟縣東蒲原郡豊實村大字豊田) ⑩低落差にして使用水量の大なる點、即ち使用水量最大8,000個、落差82尺、ダム式発電所、出力最大45,000キロワット。⑪高32尺幅30尺のテンターゲート19門を備へ、全部開きて300,000個の洪水を溢流す ⑫堰堤コンクリートは7分通り竣功、大規模のテンターゲート目下据付中 ⑬監督主任者、東信電氣株式會社技師長三野熊雄氏 ⑭飛鳥組、石川島造船所、日立製作所 ⑮昭和4年11月末 ⑯磐越西線日出谷驛及豊實驛より約1里 ⑰鹿瀬驛より約30町にして、昨年末竣功せるダム式の第一発電所あり。

⑱昭和電力庄川第二発電所工事 ⑲230餘尺の高堰堤を設けて庄川を締切り、落差220尺、約2,970個の水量を利用す。出力最大73,538(理論)馬力最大4,594K.W.の発電力を有す ⑳貯水池堰堤長420尺、補助堰堤長560尺、何れもコンクリート重力式堰堤。導水路内徑19尺、270間。水槽は減壓水槽にして内徑51尺、最大水深100尺。水壓鐵管3條内徑13.5尺。発電所建物、鐵筋混凝土造310坪。シングルスパイラル・フランシス型水車3臺を据付く(馬力數最大27,000馬力)發電機米國G.E會社製3臺(容量20,000K.V.A) ㉑昭和2年4月起工、目下80%竣功 ㉒所長衣川清一氏、土木主任水谷佐七氏電氣主任稻葉重治氏、事務主任山崎三七介氏、㉓4年末 ㉔北陸本線高岡驛より中越線に乗換え終點城端驛下車徒歩6里 ㉕附近に第一発電所あり。

㉖庄川電力小牧発電所 ㉗ダム式発電所にして高さ260呎長さ1,000呎貯水量17億立方尺、落差240呎にて出力72,000キロを有する東洋第一のコンクリートの堰堤(總坪數48,000立坪)工事 ㉘一日250立坪のコンクリート、ミキシングの大設備及び工事

目下工事中の著名なるものを視察せんとする人の手引として本欄を設く、旅行の序に視るも良し、わざわざ視察に行く讀者には工事書報社から御便宜を得らるる方様に工事主任者へ御紹介を致しますから申込み下さい。

用電車(25噸4輛)蒸汽機關車5輛、9哩の専用軌道を有す工事書報三年七、八月號參照 ①土木工事は殆んど完成目下水車据付中間もなく完成の見込 ②日本電力株式會社技師石井颯一郎氏(堰堤)、早瀨眞平氏(發電所) ③直營工事及加藤組佐藤組 ④昭和4年秋 ⑤富山縣東礪波郡青島村小牧(北陸線高岡驛より又は石動驛より加越線青島驛下車、大阪及東京より汽車賃約10圓)

⑥朝鮮咸鏡南道赴戦江朝鮮水電會社 赴戦江水力発電工事 ⑦鴨綠江の支流を堰留め日本海に逆流して3,000尺以上の落差を利用するもの(工事書報二年六月號參照) ⑧工事専用鐵道、索道、インクライン、機械修繕工場等の大設備を見るべし ⑨堰堤工事隧道等95%竣功 ⑩工務部長久保田豐氏、工事主任松村種雪氏 ⑪コンクリート工事を直轄とする外は全部請負にて第一工區松本組第二工區長門組第三工區と大堰堤は間組、鐵道工事は鹿島組及び西松組其他 ⑫昭和4年 ⑬京城より咸鏡南部線咸鏡驛に下車し、私設朝鮮鐵道咸南線に連絡乗車し、西新興驛に下車、同所より以北は水電會社専用線に乗車の事務所は松興里に在り旅館三島屋の宿泊料一泊一等金3圓50錢、京城から西新興驛迄、二等往復汽車賃23圓、京城から工事ヶ所最北の堰堤迄往復日數7日間を要す。⑭千佛山の奇山峻峰在り、咸興は李朝發祥の地て本宮歸州鑾、定陵、和陵等がある。

⑮高岡発電所(宮崎縣東諸縣郡高岡町) ⑯大淀川の水力を利用す、水量最大2,530個平均2,000個、有効落差197尺乃至179尺、出力30,000K.W. ⑰貯水池堰堤長400尺、高110尺、テンターゲート(36尺×17尺)8門、調整池堰堤長430尺、高70尺、隧道4ヶ所(内徑18尺餘)延長計11,126尺83(延長2千尺乃至7,945尺)サージタンク内徑54尺高80尺水壓鐵管三條内徑10呎4吋延長477尺餘、水車堅型單放水式フランシスタービン14,500馬力3臺 ㉑昭和3年6月起工 ㉒大淀川水力電氣株式會社建設事務所長(取締役)濱田東稻氏、電氣部長内田秀四郎氏、土木部長山口圭助氏 ㉓請負 飛鳥組、鹿島組 ㉔昭和5年10月竣工豫定 ㉕道順 宮崎驛下車約六里(乗合自動車あり)面早流に下車 ㉖名勝 薩摩藩舊關所趾

北海道鐵道工事

①室蘭石炭積込設備改良工事 (札幌鐵道局工務課) ②埋立及び岸壁工事、岸壁はシートパイル及び高35尺、長46尺、幅26尺のコンクリートケーソン26個を沈下して2,100尺の大埠頭を建設する尙ほ現在高架棧橋の東側にも2千坪の埋立をなし1千尺の岸壁を築造する ③イアンデーター、サクシヨンドレツヂャー(カッター付)其他工事設備をなす管 ④昭和三年秋着手目下は現棧橋西側のシートパイル打込中 ⑤設計は鐵道局技師、長田誠三郎氏 ⑥目下は直營工事 ⑦昭和六年度 ⑧室蘭驛下車視察し得 ⑨苫小牧王子製紙工場、支笏湖、登別温泉、輪西製鐵所、洞爺湖。